

## はじめに

わたしたちは、保護者や地域の人々と連携を深め、家庭や地域とともに児童生徒を育てていくという視点に立ち、様々な教育活動を実践しています。また、活動を自己評価して改善にも取り組んでいます。学校の自己評価がよりよい学校づくりに資するために行われているように、これからは、授業についても他の教育活動と同様、ねらいを明確に示し、実践を積み重ね、評価を行い、その結果や問題点、改善策を内外に明らかにすることで、改善を進めていくことが大切です。

栃木県教育委員会では、平成18年4月に、「栃木県の子どもたちの学力向上のために」と題した提言を出しました。その中で、毎時間の学習のねらいを明確にすること、ねらいを実現するための手だてを明らかにすること、ねらいの実現状況を適切に評価して授業改善に生かすことの大切さを述べています。このことは、児童生徒の「確かな学力」を育成するためには、授業づくりに際して、いわゆる「指導と評価の一体化」を実現させることが重要であることを示したものです。

授業評価もまた、「よりよい授業づくり」を目指して行われ、その結果が次の計画や授業実践に生かされるとともに、子どもたちの「確かな学力」をはぐくむための一つの方法だと考えられます。

授業評価には、「児童生徒による授業評価」、「教員相互による授業評価」、「保護者、地域住民、学校評議員による授業評価」等が考えられますが、本冊子では、主に児童生徒による授業評価と、授業研究を通じた教員相互による授業評価に関する実践を紹介しています。そこには、一人一人の教師が自らの授業を振り返り、授業を改善していく中で、「授業力」の向上を図っている事例や、授業評価を実施する際のポイントが示されています。各学校においては、よりよい授業を創造し、一層信頼される学校づくりを進めるために、本冊子をご活用ください。

終わりに、本冊子の作成にあたり、調査にご協力をいただいた宇都宮大学教育学部教授 松本 敏先生、調査研究協力校の研究協力委員をはじめ職員の方々、そして関係機関の方々に深く感謝申し上げます。

平成19年3月

栃木県総合教育センター所長

五味田 謙一

## 調査研究の概要について

総合教育センターでは、「授業評価を生かした授業改善の在り方に関する調査研究」として、児童生徒による授業評価を生かした授業の工夫改善の在り方及び教員の学び合う校内研修の在り方について研究を進めてきました。

### 児童生徒による授業評価への期待と不安

これまで教師は、「分かる授業」を行うために、子どもの願いや要望を授業づくりに生かそうとしてきました。

この調査研究の一環として総合教育センターが実施した教員の意識調査からも、児童生徒による授業評価については、「自分の授業を振り返り、授業の改善が図れる」、「よい授業を展開しようと心がけるようになる」など、その効果への期待が大きいことが分かりました。その一方、児童生徒から授業評価を受けることへの不安の声も少なくありませんでした。そこで、今回の調査研究では、授業の改善につなげるための児童生徒による授業評価の在り方について、研究協力委員のみなさんと共に、工夫と実践を重ねてきました。その結果、研究協力校の教師からは、「子どもと共に授業をつくる雰囲気できた」、「子ども理解ができ、一人一人への支援に役立った」との声が数多く寄せられました。

このように、児童生徒による授業評価を取り入れ、改善の必要な点やその原因を明らかにし、授業改善に取り組んでいくことは、授業を見直す大切な視点の一つになると考えられます。

### 教師が学び合う授業研究会の充実

教師はこれまでも、研究授業とその後の授業研究会を通して、互いに学び合い、よりよい授業の実践を目指してきました。前述した教員の意識調査でも、校内で教員同士が授業を参観し合い、授業研究会を行うことが、授業力の向上を図るための効果的な取組であることが明らかになりました。しかし、その取組が、これまでは、学級、学年、教科という枠を越え、学校全体としての授業改善までには至らなかったこともあるように思われます。そこで、今回の調査研究では、付箋紙を活用した授業リフレクションや、模擬授業を通した授業の振り返りなど、様々な工夫を研究協力校に試みていただきました。その結果、教師一人一人の専門性、経験、実践などをもとに、よりよい授業改善を目指す視点を見付け、教員同士が学び合うことが、学校全体としての授業改善につながっていくことが確認できました。

教員が学び合う授業研究会の充実は、今後一層学校に求められるものであり、学校経営の重要な柱の一つになるものと考えられます。

## 授業評価を生かした授業改善の在り方に関する調査研究

このように、児童生徒による授業評価を取り入れ、子どもと共に授業をつくっていきうとすることや、教員同士が学び合い、お互いに高め合おうとすることにより、よりよい授業が展開されるものと考えられます。

以上のような考えに基づき、本冊子は、次に示す研究協力委員及びその勤務校の先生方、指導・助言者の協力を得て作成いたしました。

### 調査研究協力校及び研究協力委員(7名)

芳賀町立芳賀東小学校	教諭	鈴木真恵
小山市立間々田中学校	教諭	飯塚史江
さくら市立氏家中学校	教諭	吉成俊昭
那須塩原市立大山小学校	教諭	河合奈津子
那珂川町立馬頭東中学校	教諭	岸睦美
佐野市立犬伏小学校	教諭	林瑞枝
那須塩原市立鍋掛小学校	教諭	緑川下枝

### 指導・助言者(3名)

宇都宮大学教育学部カリキュラム開発学講座	教授	松本敏
河内教育事務所学校支援課	副主幹	鶴見行雄
上都賀教育事務所学校支援課	指導主事	酒井邦夫

### 研究委員(4名)

栃木県総合教育センター 研究調査部	副主幹	小森祥一
栃木県総合教育センター 研究調査部	副主幹	矢口真一
栃木県総合教育センター 研究調査部	指導主事	吉澤正光
栃木県総合教育センター 研究調査部	指導主事	宮井由美

# 目 次

授業力向上の取組に関する教員の意識調査から 調査及び調査結果の概要	1
学校が抱える授業力向上を図る取組への課題	
1 校内授業研究会に参加してはみても...	5
2 よりよい授業を目指してはいるけれども...	6
調査研究協力校の実践	
1 児童生徒による授業評価を生かした授業の工夫改善	
事例1 子どもと共につくる授業を目指して	9
事例2 カリキュラムづくりに生かす授業評価	15
事例3 生徒の視点で取り組んだ授業改善への挑戦	20
事例4 授業評価によって明らかになった改善の視点	24
事例5 学校評価に授業評価を位置付けた取組	29
2 同僚性を築く校内研修 - 教員の学び合う体制づくり -	
事例6 教員の学びを進めるOJT	37
事例7 模擬授業を取り入れた授業研究会	41
事例8 授業評価とビデオを活用した授業研究会の工夫	44
事例9 ワークショップ型授業研究会	47
今回の調査から	
1 意識調査から、2 調査協力校の実践から、3 この調査研究を通して...	52
資料	
資料1 授業評価等に関するアンケート調査結果	54
資料2 児童生徒による授業評価シート(例)	57